第２回昭島市総合基本計画審議会
議事要旨

＜ 日 時 ＞　令和元年７月12日（金）19:00～

＜ 場 所 ＞　昭島市役所　３階　庁議室

＜出席者＞（敬称略）

【委員】

田中　啓之（会長／相模女子大学 人間社会学部長 社会マネジメント学科 教授）、前田　耕司（副会長／早稲田大学大学院 教育学研究科 教授）、白川　宗昭（昭島市教育委員会 委員）、中島　岩雄（昭島市自治会連合会 会長）、鈴木　勇作（昭島市農業委員会 会長）、信行　賢順（連合東京多摩中央地区協議会 事務局長）、日惠野　貴之（昭島六団体連絡協議会 専務理事）、細谷　訓之（昭島市社会福祉協議会 事務局長）、水野　宏一（昭島市商工会 事務局長）、大田　眞也（昭島市医師会 常任理事）、杉田　一男（昭島市まちづくり委員会 委員）、松本　祐一（多摩大学 産官学民連携センター長 経営情報学部 教授）、山下　俊之（昭島市行財政改革推進会議 委員）、赤田　輝子（公募市民）、河村　美紀（公募市民）

【事務局】

永澤貞雄（企画部長）、萩原　秀敏（政策担当部長）、青柳　裕二（企画政策課長）、滝瀬　泉之（総合基本計画担当課長）、森田　晃（企画調整担当係長）、田中　一輝（企画政策係主事）

【策定支援事業者】

森井　緑朗（（株）地域総合計画研究所）、三浦　洋平（（株）地域総合計画研究所）

【傍聴者】

なし

＜配付資料＞

○第五次昭島市総合計画
○統計あきしま　平成30年版
○昭島市市民便利帳
○昭島市の財政（平成29年度決算）
○昭島市市民意識調査（平成31年１月）
○人口ビジョンにおける人口の将来像
○第五次昭島市総合計画における政策指標の取組状況
○「次期総合計画について」、及び「次期総合計画について（補足資料）」
○将来都市像等の変遷
○昭島市総合戦略

＜議事要旨＞

１　開会

２　会長挨拶

会長：

第２回昭島市総合基本計画審議会の審議を始める。本日は、委員18名中15名の委員出席で、審議会は成立している。欠席委員は浅見委員、荒井委員、和田委員である。

本日始めて出席の中島委員の自己紹介をお願いする。

【　中島委員より自己紹介　】

会長：

第１回昭島市総合基本計画審議会の議事要旨について、事前配付があったが、本日差し替えが机上配付されているため、確認をお願いする。

議事要旨について意見があればお願いする。（委員からの意見無し）

意見が無いため、第１回昭島市総合基本計画審議会の議事要旨は確認されたものとする。

３　議題

（１）市政の概要について

【　事務局より市政の概要、総合基本計画、市民意識調査等について説明　】

【　質疑　】

会長：

何かご意見はあるか。

中島委員：

第五次総合基本計画の達成状況について、概略何ができて何ができなかったのかを伺いたい。また、出来なかったのは何故できなかったのかを知りたい。

事務局：

政策指標の達成状況について、平成28年度に中間評価の状況整理をしている。そのことは全体的にも大切なことであるため、資料を後日お配りして説明させていただくが、先程のご指摘の評価については、今後、基本計画の分野別計画での目標や施策を組み立てる上で大事な部分となるため、基本計画を検討するうえで平成28年度評価を参考に施策検討につなげていただくよう改めてご意見いただきたい。本日は、議題にあるように基本構想やまちづくりの理念、計画期間といったことについてのご議論をいただきたい。

中島委員：

人口の増減や人口推計の説明があったが、何故最初に人口をとりあげるのか。

事務局：

施策を立てるうえで、どれくらいの市民がおられるのか、また若年層や高齢者の人口がどうなるかなど分析したうえで、例えば高齢者向けの計画を立てるとか施策を検討する必要が生じてくるなどするため、最初に人口推計を行うものである。

中島委員：

理解し、納得する。意見だが、10年計画というのは長すぎるのではないか。

事務局：

本日次の議題の総合基本計画についてで、ご議論させていただきたい。

会長：

昭島市の統計の中では犯罪が少ないとなっていたが、昭島市の市民意識調査の結果で、市民からは防災・防犯について不安があると答えている。昭島市は、防犯等については他の市町村と比べてどのような状況か。

事務局：

交通事故での死亡者は27年、28年において０件となっており、犯罪についても警察の方と話をする機会があった中では、昭島市は凶悪犯罪も少なく、ゆったりとした安全な街だとの評価をいただいている。

中島委員：

事故や火事については我々の先輩たちがよく取り組んでくれた結果良くなってはきたが、しかしこの２、３年は増えてきているし、自転車事故などの小さな事故も増えている。また火事についても最近心配している。

会長：

ありがとうございます。今後、資料やデータをもとに検討していきたい。

（２）次期総合基本計画について

【　事務局より次期総合計画について説明　】

【　質疑　】

会長：

何かご意見はあるか。

山下委員

今後10年間の動向に関して、東京都や国のプランや方向性、動きについてわかると有難い。昭島市の計画が東京都の計画に反映できるのか、逆に東京都の全体計画の中に昭島市の計画が枠をはめられるのかで大きく方向性は違ってくるため、明確にする必要がある。

事務局：

東京都もこの四月から長期計画策定に取り組み始めた。今後、都の策定の動きを注視していきたい。東京都はいろいろな計画やビジョンを持っているため、それらを押さえながら状況や情報を把握し、皆さんにもお伝えしたい。

細谷委員

基本構想、基本計画と実施計画の関係性について再度ご説明願いたい。

事務局：

従来は、基本構想と基本計画と実施計画との三層構成になっており、実施計画は毎年作成している。次期総合基本計画では、基本計画をより具体的事業が反映できるような計画として実施計画と一体的な計画としたいと考えている。

細谷委員

そうすると前期基本計画の５年と後期基本計画の５年ということで、こうした会議が２回あるということか。それとも今回で、前期と後期とを作成するということか。

事務局：

今回作成するのは、基本構想と前期基本計画となる。

会長：

他に、何かご意見はあるか。

中島委員：

基本構想の理念について、市町村の理念等検討のベンチマークになるようなものはないか。時代は変わっているのだから、他市のも踏まえて検討して欲しい。

事務局：

これまで、「人間尊重」、「環境との共生」の理念によりまちづくりを進めて来た結果、恵まれた水と緑の環境と、安全・安心かつ利便性の高い都市基盤が調和した住宅都市として、その魅力を高めてきたことにより、昭島市は中核都市として発展してきました。

こうした部分は、普遍的なまちづくりの理念として、今後も継承していきたいのが市としての考えです。

今、委員がおっしゃられたとおり、他市の状況は必要な視点と思われますが、それぞれ自治体のまちづくりは、どこに重点を置くか、昭島市は住宅都市として、水と緑を大切にしてきた経緯もあります。例えば立川市は商業都市としての発展という面もあり、市によって考え方も変わってくると思います。

今後、資料はご提示させていただきますが、昭島市のまちづくり、これまで大切にしてきた部分、大切にしなければいけない部分は十分に重視していきたいと考えています。

会長：

人間尊重は第一次からずっと掲げて今日まで繋がってきているし、環境との共生も現在

でも大きなテーマであるため、この二つの理念のテーマが今でも普遍的なことだと思うし、今日的な流れの中での理念だと思う。

松本委員

総合戦略に関わった立場からであるが、具体的な事業を実際に行ったことが大きな理念にどれだけ貢献しているかを評価するのは大変難しい。総合基本計画は全ての領域についての計画を立てなければいけないということから、各部署から出てきた計画を統合していくことになるが、そうすると市民はどれを見てどれを評価していいかわからない。形はこれで良いが、事業の横の繋がり、事業の領域と領域との関係性について、例えば福祉と産業との繋がりがあるのかないのか、あるいは繋がりがあるとすれば繋がりの見せ方を工夫できれば、網羅的にいろいろな事業が理解できるのではと思う。また、例えばこの５年間はこの分野に、領域に力を入れて事業をすすめていくような判断を示していければ市民の意識も少し変わるのではないか。今回はこうした新たな視点を入れて計画を作れば、効果的な計画ができるのではと思う。

会長：

横の繋がりというのは、基本計画施策にあるいろいろな施策・事業を横串にしてみるということか。

松本委員

お見込みのとおり。例えば、幼児教育と児童福祉がどう繋がっているか、コミュニティと防災とかの章を跨いで繋げていくような。

会長：

なかなか難しいことだと思うが、事務局の方ではどうか。

事務局：

今回は、基本計画の中に実施計画も網羅した形で策定してくが、重点的にどういった事業を具体的に進めていくかは５年の基本計画の中で実施計画を位置づけることになる。また横断的なテーマは難しいことではあるが、いくつかの事業を一体的に行うことによって別の効果も生まれてくるということもある。今後庁内でも検討していきたいと思う。

山下委員：

基本計画を５年、５年にするということだが、微妙なことだが市長は選挙で選ばれ任期は４年である。新しい市長が誕生した時には、任期との関係では何もできなくなるのではないか。このあたりについて現市長は納得されているのか。

事務局：

策定期間については、市長も含めた政策会議の中で検討してきた。ただ、いまご発言があったように市長が変わった場合や社会情勢の変化で計画を見直さなければならなくなった場合は、実施計画について議会とも諮りながら部分的に変更もありうると考えている。ただ市長が変わったからといって基本構想、基本計画を抜本的に変えることは考えていな

い。

会長：

全体的な話としては、他の自治体や東京都の動向も踏まえてという御意見が複数あった。今後の審議会では、そうした情報を提供いただきたい。私からの質問だが、庁内体制、外部体制とあるが、庁内体制で出されたものをこの審議会で揉んでいくという理解でよいか。

事務局：

基本的には庁内体制で検討したものをこの場でご議論いただくということだが、検討課題等によっては庁内体制とキャッチボールしながらご議論いただく、検討していただくということもあるかと思う。

会長：

了解した。それでは、これで議論を終了する。

４　その他

（１）次回の開催予定

事務局：

次回開催は８月９日（金）19：00からとする。

５　閉会